

9/11(水)花時計公園でのムクドリ追い払いにご理解をお願いします

- 長野県、JR東日本が運営するWaaS®共創コンソーシアムと松本市が連携し、7月から街路樹に集まるムクドリを追い払うための実証実験を実施しています。
- これまでに、あがたの森通りからの追い払いには一定の効果が確認できました。現在は、花時計公園に多くのムクドリが集まっていますので大規模な追い払い実験を実施します。
- 効果的なムクドリ対策を確立することにより、緑あふれる歩きやすい都市空間の形成と鳥獣被害の抑制の両立を実現し、住みやすいまちを目指します。皆様のご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

実証実験期間：2024年9月11日（水）17:30頃～

実施場所：花時計公園周辺



実施内容：ムクドリ追い払いのために、下記の対策を実施します。

- 拍子木や爆竹などで大きな音を出す
- ムクドリが嫌がる音を流す

など



<注意事項>

- 花時計公園では、大きな音を出す対策を実施します。ムクドリと樹木と人間の共存に向けた持続的な対策のために、皆様のご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<本実証実験の背景・目的>

背景

下記の観点から、都市内へのグリーンインフラの設置・増加は、重要な都市施策として位置付けられている。

- 環境負荷の軽減
- 良好な都市空間の形成・歩きやすさ（ウォーカビリティ）の向上
- 生物多様性の維持
- 防災・ヒートアイランド現象の防止

一方で、グリーンインフラの導入により、鳥獣被害（鳥の鳴き声による騒音、ふん害など）が増加することが懸念される。そのため、並行してグリーンインフラの設置に伴い発生する鳥獣被害への対策の実施が不可欠。

目的

鳥獣被害（特にムクドリ）への効果的な対策を確立し、またその効果を多面的に検証し持続的な対策を可能にすることで、都市へのグリーンインフラの実装に寄与する。

<あがたの森通りに集まるムクドリ>



<拍子木等による追い払い>

